

# 経済日誌 (12.1~12.31)

## 国内外

### 12.6◇日産、新たな不正検査

日産自動車が新車出荷前に行う完成検査で、新たな不正が見つかった。検査不正は2017年9月から4度目。翌日には約15万台のリコール(回収・修理)を国土交通省に届け出ると発表した。前会長のカルロス・ゴーン容疑者の逮捕による混乱が続く中での不祥事発覚となった。

### 12.8◇改正入管法が成立

外国人労働者の受け入れを拡大する改正出入国管理・難民認定法(入管法)が成立した。4月1日に施行する。高度専門職に限定していた従来の施策を、深刻な人手不足を理由に転換し、単純労働分野にも幅広く門戸を開くもので、大きな政策転換となる。

### 12.18◇出光・昭和シェル統合承認

石油元売り2位の出光興産と4位の昭和シェル石油はそれぞれ開いた臨時株主総会で、経営統合の承認を得た。出光創業家の反対で基本合意から3年半かかった。4月の新会社誕生が確定し、石油元売り業界は最大手のJXTGホールディングスとの2強体制となる。

### 12.19◇ソフトバンク、株価振るわず

携帯電話大手ソフトバンクが、東京証券取引所第1部に株式を上場した。上場による調達額は約2兆6,000億円と1987年のNTTの約2兆3,000億円を上回り、過去最大。しかし終値は1,282円で、売り出し価格(1,500円)を約15%下回り厳しいスタートとなった。

## 県内

### 12.6◇米の生産目安微減

県や県農協中央会などで行う「県農業再生協議会」は臨時総会を開き、2019年産主食用米の生産の目安を前年度比0.4%(1,700トン)減の40万7,000トンと決めた。農林水産省が公表した全国生産量の目安を踏まえ、県産米のシェアや最近の販売状況などに基づいて算出した。

### 12.7◇キキョウを使い薬膳料理

八峰町の飲食店や宿泊施設が、町内で栽培するキキョウを使った薬膳料理を開発した。八峰町はコメに依存しない作物として2013年に生薬植物の試験栽培を始めた。今年度は10戸の農家が栽培、キキョウ23キロ、カミツレ50キロの全量を龍角散(東京都)に出荷する。

### 12.9◇自動運転、2度目の実証実験始まる

高齢化が進む中山間地における自動運転サービスの実証実験が上小阿仁村の道の駅「かみこあに」を拠点として始まった。同村での実験は昨年度に続き2回目で、年末年始を除く2月1日まで行う。より実証性を高めるため3ルートを設け、距離も前回より約1キロ長い4キロとした。

### 12.12◇温泉トラフグ、新たな名物に

秋田共栄観光(仙北市)は温泉水を利用して養殖したトラフグを、秋田・青森両県で運営するホテル5軒で提供を始めた。岩手県雫石町の鶯宿温泉で子会社が養殖したトラフグを生きたまま運んで使う。4月までの提供だが、将来的に通年の提供やトラフグそのものの販売も目指す。